

平成12年度収入支出決算

1. 収支計算書

平成12年4月1日～13年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
(収入の部)				
1 会員会費収入	56,800,000	64,128,000	△ 7,328,000	8千円×8,016人 (12年度7,512人・60,096,000) (11年度 504人・4,032,000)
2 会誌掲載料収入	5,500,000	4,637,162	862,838	
3 会誌投稿料収入	650,000	715,000	△ 65,000	
4 会誌広告料収入	1,800,000	1,684,000	116,000	
5 助成金収入	200,000	200,000	0	日本医学会
6 雑誌販売収入	1,200,000	1,594,000	△ 394,000	雑誌代金
7 雑収入	300,000	638,723	△ 338,723	受取利息等
当期収入合計(A)	66,450,000	73,596,885	△ 7,146,885	
前年度からの繰越金	7,939,380	7,939,380	0	
収入合計(B)	74,389,380	81,536,265	△ 7,146,885	
(支出の部)				
管理費	26,190,000	25,758,494	431,506	
1 会議費	460,000	332,789	127,211	
1) 理事会費	260,000	203,234	56,766	会場費、資料作成費等
2) 評議員会費	100,000	79,695	20,305	会場費、資料作成費等
3) 会議費	100,000	49,860	50,140	
2 旅費交通費	2,000,000	1,688,540	311,460	役員、職員旅費
1) 理事会出席旅費	1,400,000	1,146,940	253,060	
2) その他旅費交通費	600,000	541,600	58,400	
3 通信運搬費	1,300,000	1,206,408	93,592	事務用郵便料、電話料
4 消耗品費	350,000	383,457	△ 33,457	事務用消耗品費
5 印刷製本費	600,000	678,192	△ 78,192	
6 貸借料	100,000	69,825	30,175	総会時コンピューター
7 支払手数料	500,000	518,795	△ 18,795	振込手数料
8 諸謝金	700,000	575,498	124,502	
9 事務委託費	19,880,000	19,880,000	0	日本公衆衛生協会
10 雑費	300,000	424,990	△ 124,990	
事業費	37,220,000	34,196,754	3,023,246	
1 奨励事業費	400,000	469,236	△ 69,236	表彰、選考費等
2 会誌発行費	32,820,000	29,844,900	2,975,100	
1) 編集費	4,320,000	4,256,057	63,943	委員会費用、査読依頼費等
(1) 会議費	300,000	195,697	104,303	
(2) 旅費交通費	1,100,000	1,333,520	△ 233,520	
(3) 通信運搬費	900,000	758,575	141,425	
(4) 消耗品費	10,000	19,687	△ 9,687	
(5) 印刷製本費	710,000	732,195	△ 22,195	
(6) 諸謝金	1,300,000	1,216,383	△ 83,617	
2) 会誌作成発送費	28,500,000	25,588,843	2,911,157	
(1) 印刷製本費	20,000,000	17,351,261	2,648,739	製本費、版下作成費等
(2) 通信運搬費	8,000,000	7,821,278	178,722	
(3) 雑費	500,000	416,304	83,696	
3 調査活動費	2,000,000	1,882,618	117,382	委員会活動費
4 総会負担金	2,000,000	2,000,000	0	総会負担金
特定積立預金支出	1,550,000	13,546,603	△ 11,996,603	
1) 会員名簿積立預金支出	1,500,000	1,500,000	0	
2) 財政調整積立預金支出	0	12,000,000	△ 12,000,000	
3) 利息繰入金	50,000	46,603	3,397	
予備費	1,490,000	0	1,490,000	
当期支出合計(C)	66,450,000	73,501,851	△ 7,051,851	
当期収支差額(A)-(C)	0	95,034	△ 95,034	
次期繰越収支差額(B)-(C)	7,939,380	8,034,414	△ 95,034	

(注) 次期繰越収支差額8,034,414円は、平成13年度へ全額繰越すこととする。

2. 貸借対照表

平成13年3月31日現在
(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	113,202	
普通預金	6,079,133	
振替貯金	1,604,308	
未収入金	752,080	
前払金	3,000,000	
流動資産合計		11,548,723
2 固定資産		
電算機等備品	1,439,734	
総会運営基金	3,525,841	
選挙費用積立預金	5,451,953	
備品購入等積立預金	7,840,385	
会員名簿積立預金	3,001,440	
財政調整積立預金	44,094,306	
固定資産合計		65,353,659
資産合計		76,902,382
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,700,309	
前受金	814,000	
流動負債合計		3,514,309
負債合計		3,514,309
III 正味財産の部		
正味財産		73,388,073
(内 当期正味財産増加分)		13,595,034
負債及び正味財産合計		76,902,382

3. 積立預金収支の部

平成13年3月31日現在
(単位：円)

1) 総会運営基金

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,522,449	次年度繰越金	3,525,841
受取利息	3,392		
計	3,525,841	計	3,525,841

2) 選挙費用積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,448,907	残高証明書手数料	210
受取利息	3,256	次年度繰越金	5,451,953
計	5,452,163	計	5,452,163

3) 備品購入等積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,832,567	次年度繰越金	7,840,385
受取利息	7,818		
計	7,840,385	計	7,840,385

4) 会員名簿積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,500,000	次年度繰越金	3,001,440
12年度繰入金	1,500,000		
受取利息	1,440		
計	3,001,400	計	3,001,400

5) 財政調整積立預金

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	32,063,609	次年度繰越金	44,094,306
12年度繰入金	12,000,000		
受取利息	30,697		
計	44,094,306	計	44,094,306

平成12年度監査報告書

平成12年度日本公衆衛生学会事業報告書(案)及び収入支出決算書(案)に基づいて会計帳簿、証憑書類、貯金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、業務ならびに会計処理が適切に運営・管理され、資産が貸借対照表どおり管理されていることを確認したので報告します。

平成13年7月17日

監事

古市圭治

監事

平山朝子

地方公衆衛生学会の代表者との懇談

日時 平成13年11月1日(木)10時～12時

出席者

地方公衆衛生学会 代表者

東北 久道 茂先生 角田 文男理事
北陸 岡田 晃先生 中川 秀昭理事
東海 豊嶋英明先生
近畿 後藤 武理事 鳥山 皓理事
中国 能勢隆之理事
四国 久繁哲徳先生

本学会より

多田羅浩三理事長 近藤 健文理事
相澤 好治理事 宮武 光吉理事

欠席者

北海道 三宅浩次先生

多田羅理事長から、昨年の評議員会において地方会との連携、支援などについての意見が出され、その後理事会において検討してきたが、各地方会からの実情やご意見などを伺い、できることから実施したいと考え、本懇談会を開催した旨の挨拶があり、出席者の紹介の後、懇談に入った。

まず、地方公衆衛生学会の活動について、東北(久道先生)、北陸(岡田先生)、東海(豊嶋先生)、近畿(後藤先生)、中国(能勢先生)、四国(久繁先生)から順次報告がなされ、北海道については岡田先生から経緯などについての報告がなされた。各地方会とも、それぞれ特長のある活動がなされているが、本学会からの連携支援については現在ではほとんど行なっていないというのが実情である旨報告された。なお、関東甲信越地区および

九州・沖縄地区では地方学会としては組織されていないことが確認された。

ついで、日本公衆衛生学会との連携などについて、以下のような点について、意見交換が行われた。

- 本学会規定題24条に地方会をおくことができるとなっているが、どのように取り扱えばいいのか。
- 以前は一部の地方学会に補助金が支出されることもあったが、現在は行われていない。今後はどのようにするのか。
- 各地方学会とも公衆衛生活動の拡大、また大学と行政並びに医師会などとの連携を推進する上でも効果を挙げている。
- 事務局体制のあり方も各地方において、それぞれの特徴がある。
- 地方学会は、これまでそれぞれの地方の実情に応じて組織され活動しているので、その自主性、主体性を損なうことのないようにすべきである。

種々検討の結果、理事長から以下の点が確認され、閉会となった。

具体的な本学会との連携のあり方については、当面は現状を維持するものとする。

ただし、学会誌にコーナーを設け、各地方会の紹介、総会・研究会の開催通知および事後報告などについて、編集委員会の了解を得て掲載することを検討する。

また本日の懇談の要旨を受けて、理事会で検討し、よりよい方策を実現するように努めるようにしたい。

地方の公衆衛生(類似)学会の一覧(地域)

地域名	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
名称	北海道公衆衛生学会	東北公衆衛生学会	なし	北陸公衆衛生学会	東海公衆衛生学会	日本公衆衛生学会近畿地方分会 近畿公衆衛生分会 会連合会	中国地区公衆衛生学会	四国公衆衛生学会	なし
所属県	北海道	東北6県		北陸3県	愛知・岐阜・静岡・三重・名古屋	15団体、府県および指定都市、中核市、政令市	山口・鳥取・島根・広島・岡山・広島市	徳島・香川・高知・愛媛	
設立年	昭和25年	昭和26年		昭和48年	昭和30年	昭和137年		昭和31年	
会員数	700	会員制はとらえず、代表者43人で世話人構成		400	360			300	
会員の内容	行政・大学			行政・大学 その他	行政・大学 その他	行政	行政・大学 その他	行政・大学	
年会費	2,000円			2,500円	2,000円			2,500円 参加者のみ	
代表者	三宅 浩次 (北海道医療看護福祉学部)	久道 茂 (東北大学医学部公衆衛生学)		岡田 晃 (金沢経済大学)	豊嶋 英明 (名古屋大学医学部公衆衛生学)	後藤 武 (兵庫県理事)	各県できめる	久繁 哲徳 (徳島大学衛生学)	
総会の開催	ある	ある		ある	ある	ある	ある	ある	
開催方法		持ち回り		持ち回り	持ち回り H14.兵庫県	持ち回り	持ち回り	持ち回り	
機関誌の有無	ある	ある		ある	ある (ニューズレター)	ある	ある	ある	
回数(年)	2回	1回		4回	1回	1回	1回	1回	
備考	道庁の衛生部が事務局。学会長は保健所長。	大学が主体		会員制。会費で運営。機関誌は北陸公衆衛生学会誌3冊(うち1冊は抄録集)。会報(北陸と公衆衛生)1冊	平成13年度から役員制。役員は選挙で選出。任期は3年。会則あり	兵庫県でも年1回研修会を実施し、よい演題に助成、表彰。	事務局は県および市、総会経費は県および市の負担。県および市の地方会費で推薦された演題に旅費を支給。総会は40年代前半は不明。	学会長は4年間、総会は1年につき各信持ち寄り1回。機関誌は年1回。	